

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議
平成30年11月2日 東京医科歯科大学M&Dタワー鈴木章夫記念講堂



東京女子医科大学における 女性医師等キャリア形成支援



東京女子医科大学

1900年（明治33年）東京女醫學校創立

建学の精神

高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出すること

1952年（昭和27年）新制大学設立

学則

医学の蘊奥を究め、兼ねて人格を陶冶し、社会に貢献する女性医人を育成する



医師として



研究者として

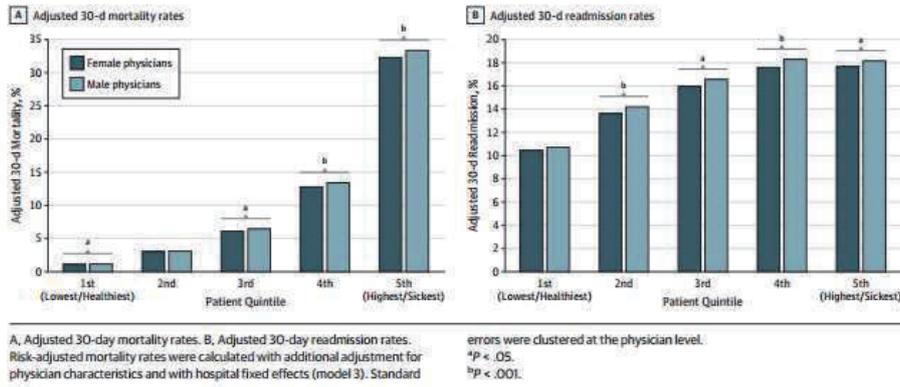
Comparison of Hospital Mortality and Readmission Rates for Medicare Patients Treated by Male vs Female Physicians

JAMA Intern Med. doi:10.1001/jamainternmed.2016.7875

Published online December 19, 2016.

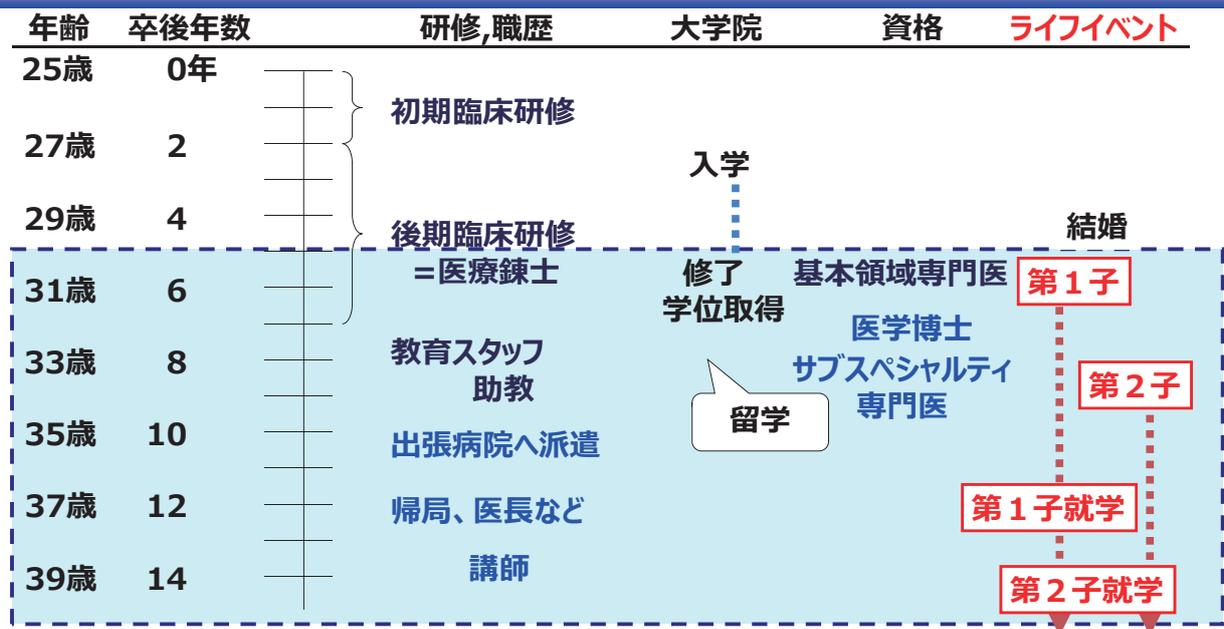
Yusuke Tsugawa, MD, MPH, PhD; Anupam B. Jena, MD, PhD; Jose F. Figueroa, MD, MPH; E. John Orav, PhD; Daniel M. Blumenthal, MD, MBA; Ashish K. Jha, MD, MPH

Figure. Association Between Physician Sex and Patient Outcomes by Expected Mortality Rates



死にたくなければ女性医師に診てもらおう!

女性医師のキャリア形成のプロセスとライフイベント



~~アンコンシャス・バイアス = 無意識の偏見~~



組織 = 大学や社会がサポート体制を作る

卒後（卒前）：**女性医療人キャリア形成センター**

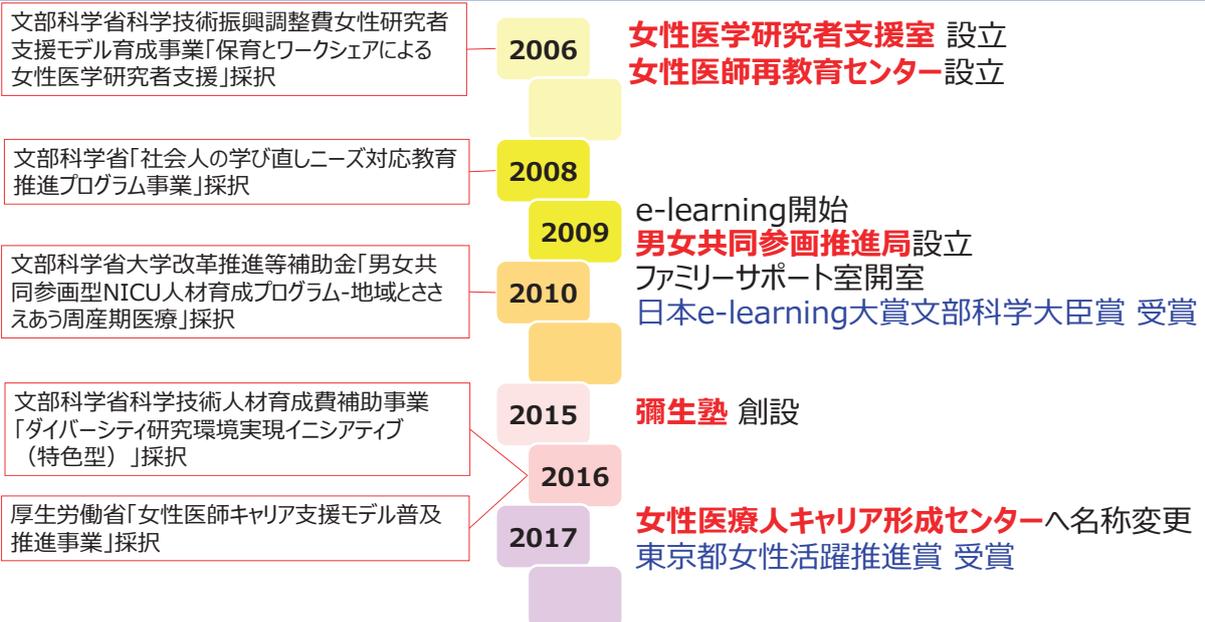
早期（子ども時代）からキャリア形成教育を行う

卒前：**至誠と愛の実践学修**

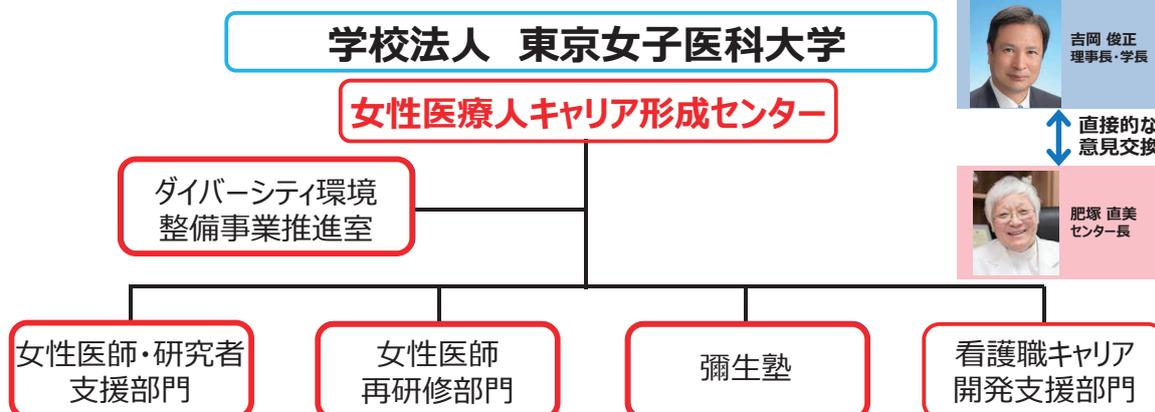
本人がキャリア形成を自覚し、あきらめない

卒後（卒前）：**彌生塾**

女性医療人キャリア形成センターのあゆみ



東京女子医科大学ダイバーシティ環境整備事業推進体制



単に勤務継続のためのセーフティネット提供の支援だけでなく、女性医療人としてのキャリア形成とその促進、リーダーシップの育成を通じて、よりよい社会をつくるために活動する指導者立場の女性医療人を育成することを目的として、さらに一段上のステージを目指していくことを明確にするために、**女性医療人キャリア形成センター**とする。

女性医師・研究者支援部門

1. 短時間勤務(フレックス制含む)

- 女性研究者・女性医師対象
⇒ 出産・子育て支援

2. 保育支援

- 院内保育・病児保育
- 女子医大・東京医大ファミリーサポート
⇒ 保育園・幼稚園の送迎
放課後や学童保育終了後の預かり
習い事、塾などの送迎



女性医師支援：短時間勤務

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
臨床系教員の短時間勤務(定員内)			16名	16名	31名	33名	35名	47名	50名
臨床系教員の短時間勤務(定員外)									
医療練士 研修生及び後期臨床研修医									
眼科 成人医学センター 眼科 2 3名	眼科 内分泌外科 成人医学センター 眼科 2 4名	眼科 糖尿病センター 東医療センター 小児科 2 外科 成人医学センター 眼科 2 青山病院 消化器内科 8名	耳鼻咽喉科 循環器内科 消化器内科 消化器内科 総合診療科 膠原病リウマチ 痛風センター 青山病院 循環器内科 7名	産婦人科 循環器内科 消化器内科 総合診療科 膠原病リウマチ 痛風センター 青山病院 循環器内科 6名	総合診療科 消化器内科2名 耳鼻科 東医療眼科 5名	小児科 2名 消化器内科2名 救命救急 耳鼻科 皮膚科 眼科 東医療センター 内科 眼科 10名	小児科 3名 消化器内科2名 循環器内科2名 救命救急 皮膚科 東医療センター 内科3名 眼科 形成外科 八千代医療センター 神経精神科 2名 東医療センター 内科 小児科 眼科 2名 八千代医療センター 形成外科 16名	呼吸器内科 2名 小児科 2名 皮膚科 4名 産婦人科 母子総合医療センター3名 救命救急センター 膠原病リウマチ 痛風センター 循環器内科 消化器内科 神経精神科 2名 東医療センター 内科 小児科 眼科 2名 八千代医療センター 形成外科 23名	呼吸器内科 4名 形成外科 2名 皮膚科 2名 産婦人科 母子総合医療センター 救命救急医療科 循環器内科3名 消化器内科 腎臓内科 総合診療科 糖尿病センター 東医療センター 内科2名 産婦人科 八千代医療センター 形成外科 婦人科 24名
女性臨床医師支援の短時間勤務 《宮原敏基金》									
					腎臓小児科 1名	神経精神科 1名	眼科 1名		

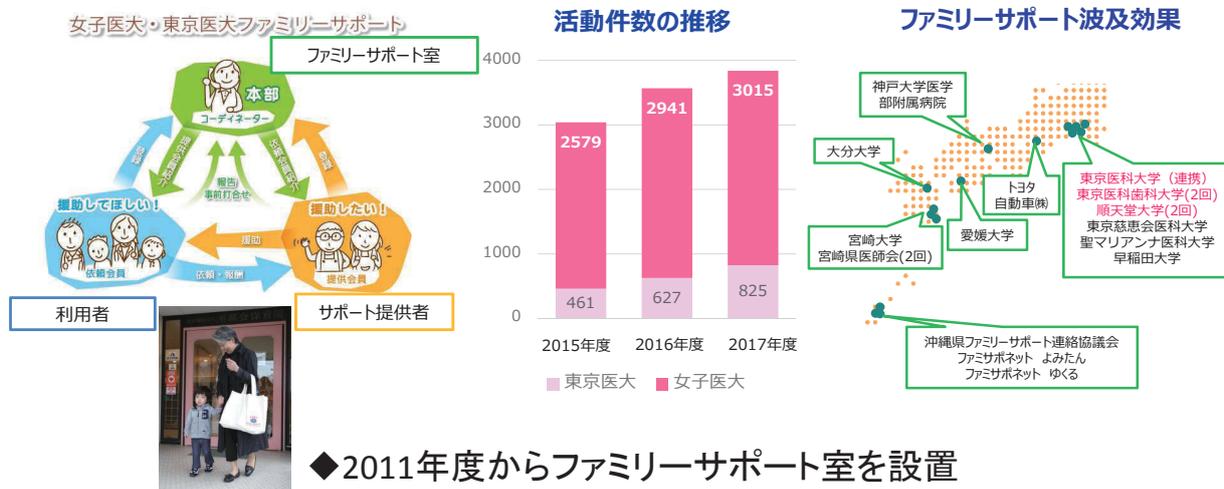
保育支援の実施体制

学校法人 東京女子医科大学
2011年度～



女子医大ファミリーサポートの概要

職員が仕事と家庭を両立するための支援策の一環として、地域の人々から子育て支援を受け、家族の福祉の向上を図ることを目的とした会員相互の援助活動



女性医師再研修部門

1. e-ラーニング

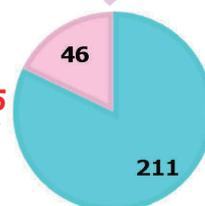
- 医療従事者であれば、性別や職種を問わず、登録・視聴はすべて無料



2. 女性医師 再教育-復職プロジェクト

- 本学卒業生に限らず、女性医師の復職を支援
- それぞれの環境に応じて、オーダーメイドの研修プランを作成
- ハンズオン実習や講習会も毎年開催

相談者257名のうち
本学卒業生以外が
82%



東京都女性活躍推進大賞（教育部門）受賞

平成29年度 東京都女性活躍推進大賞

教育分野

学校法人東京女子医科大学

女性医師・研究者のキャリア形成を継続できる環境を整備、
全国の女性医療人を対象にした復職支援

取組内容

【キャリア形成・ライフイベントとの両立支援】

- 短期間勤務制度を整備し、女性医師・研究者のキャリア形成を支援
- 地域の人々から子育ての支援を受ける「ファミリーサポート」事業を全国の大学に先駆けて運営
- 院内保育所と連携して保育支援体制の充実を図る

【上位職への積極登用等】

- 公募による教授志考の際、候補者が同等の場合、女性を積極的に登用（プラスファクター方式を導入）
- 女性の活躍に寄与する分野について特命担当教授・准教授を新設
- 女性医療人としてのリーダーの育成を進めるため、新生塾を創設

【再研修制度】

- 出身大学を問わずに全国の女性医師等を対象に、復職に向けたオーダーメイド研修や約150講座の無料e-ラーニングを整備

効果

- ファミリーサポートは、仕事と子育て等との両立支援に加え、サポーター（提供会員）に対して講習会等を開催することで地域全体の育児能力の向上にもつながる
（平成28年度：提供会員172名、依頼会員229名、年間延べ活動件数3,568件、講習会等の開催：4回）
- 平成27年から「女子医大・東京医大ファミリーサポート」として事業継続
- 女性採用（昇格を含む）（平成28年度：教授4名、准教授6名、講師12名）
- 再研修制度により、全国の女性医師に対して復職を支援
（復職への支援申請者総数：約248名、e-ラーニング：登録者数5,273名）

※復職への支援申請者のうち半数が外部利用



→ ファミリーサポートや再研修部門での取組みが認められた

ガラスの天井 glass ceilings

水漏れパイプ leaky pipes



目標

ライフイベントにより研究中断のない環境整備は進んできている。
しかし、キャリア形成・上位職の登用における十分な成果が出ていない現状がある。
(例) 平成27年 女性教授は全教授158名中27名(17%)

1. 医師・研究者の資質向上を目的に**女性医療人に特化したキャリア形成支援**を行い、**女性教授を30%**にする
2. 女性事務管理職の割合を30%にする
3. 育児や介護関連制度等、就業規則の周知や啓発、また制度を利用しやすい職場環境・雰囲気づくりの推進
4. 臨床系教員及び医療練士研修生の短時間勤務の制度化および周知

女性活躍推進法に基づく事業主行動計画(平成28年4月1日～平成32年3月31日)

平成28年度 科学技術人材育成費補助事業(文部科学省)

平成28年3月3日(木)から同年4月26日(火)までの間、公募を行った結果、特色型28件、牽引型11件の申請書の提出を受け付けました。

○「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」選定機関一覧

	機関名	総括責任者名
1	東北大学	里見 進
2	茨城大学	三村 信男
3	東京藝術大学	澤 和樹
4	宮崎大学	池ノ上 克
5	東京女子医科大学	吉岡 俊正
6	立命館大学	吉田 美喜夫
7	理化学研究所	松本 紘

計 7件

ダイバーシティ環境整備事業推進室

行動計画

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 特命含 30% 准教授 特命含 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 学生サポーター育成 介護支援制度の利用開始
プロセス	①プラスファクター方式導入 ②特命担当教授新設 ③教員評価制度見直し ④所属長意識改革	①メディアラボ運営 ②ピアラーニング実施 ③キャリア形成個別支援 ④各種セミナー・講演会 ⑤研究支援員制度	①勤務環境改善 ②育児支援発展 ③介護支援創設
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室		
事業主行動計画	学長・副学長 理事長・センター長会議 学部長会議、彌生塾	彌生塾 図書館	女性医師研究者 支援部門、病院
	目標1		目標3 目標4

彌生塾

リーダーシップ育成・研究力向上

塾生 : セミナー等の受講

本科生 : セミナー等の優先受講

+ 塾長・副塾長による個別面談指導

◆対象者

- 学内の女性医師(大学院生を含む)
- 学内外の本学卒業生
- 本学医学部6年生



本学の創立者
吉岡彌生先生

登録者数 (H30.10.1現在)
計289名



研究力向上

1) 彌生塾セミナー

H30	研究倫理セミナー～臨床研究を始める前に知っておかなければならない研究倫理	塚原 富士子氏 薬理学	20名
H30	科研費採択のための効果的な情報分析と計画調書作成セミナー	塩満 典子氏 JAXA	17名
H30	英語セミナー (全5回) (論文・プレゼンテーション)	David Kipler氏 カクダス・コミュニケーションズ株式会社	20名
H29	英語論文セミナー	山本 俊至氏 遺伝子医療センター	14名

2) e-learningコンテンツ作成

3) 研究支援員制度

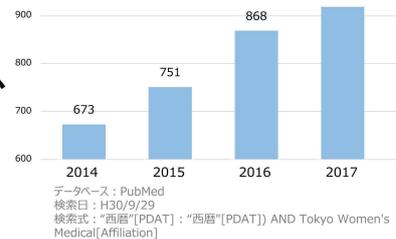
4) キャリアの個別支援

5) ピアラーニング：新任の男女の教授からキャリア形成について、教授選考についてなど討議



論文掲載数22%増加

論文掲載数の推移



上位職への積極登用

プラスファクター方式の導入（上位職登用）

（コミットメント）

教員公募に対する女性研究者の応募意欲を高めることと確実な女性登用を実現することを目的として、本学が女性を積極的に登用する方針であることを明確に示す。女性を積極的に登用する方針について公募の案内文に「また、**本学では、男女共同参画を推進しています。本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です**」を記載することを検討する。

関係機関の長 各位

平成28年11月21日

東京女子医科大学
学長 吉岡俊正

〇〇科教授候補者の公募について

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、〇〇科教授を選考することになりました。

つきましては、〇〇全般に造詣が深く、社会に貢献する女性医人を育成するという本学の建学の精神に則り、教育、研究、診療を推進できる方を公募致します。（中略）**本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。**貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜りますようお願い申し上げます。応募に際しては、下記に示す所定の書類を添付して下さい。（後略）

上位職への積極登用

特命担当教授等に関する規程(制定案)

平成29年2月1日制定

(趣旨)

第1条 本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）における特命担当教授・特命担当准教授（以下「特命担当教授等」という。）への委嘱に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 特命担当教授等への委嘱は、**本学の建学の精神および理念に基づき、教育・研究・医療において緊急あるいは柔軟に特命担当教授等が対応すべき特命事項に従事することにより、本学の教育・研究・医療活動等の一層の充実および活性化に資することを目的とする。**

(資格)

第3条 特命担当教授等の称号は、**女性の活躍に寄与する教学領域または性差医学・性差医療に関する領域**において、次の各号のいずれかに該当する者に付与する。ただし、当該者は学部職制においては元の職位とする。

- (1) 国等の学術研究機関のプロジェクト研究等を実施するにあたり、プロジェクト推進に欠かせないと学長が認める者
- (2) 特定分野における教育・研究・医療の発展に貢献すると学長が認める者
- (3) 前各号に定めるもののほか、本学の教育・研究・医療に特に必要であると学長が認める者

女性科の新設

女性医師（専門医）・女性医療スタッフによる診療
女性特有の疾患に限らない
女性医師を希望する患者の診療が可能



2017年度に新設

- ◆現在女性科教授 **2名**
 - 乳腺・内分泌外科
 - 眼科
- 今後も任命予定
(糖尿病・代謝内科、呼吸器内科)

上位職への積極登用 各年度の在職者数と女性割合：教授



	女性割合	女性	男性	合計
H27.5	20.7%	25	96	121
H28.5	22.2%	26	91	117
H29.5	18.9%	23	99	122
H30.5	24.2%	31	97	128
H30.9	25.8%	34	98	132

※常勤のみ

平成27年度以降に施設長・センター長等が変更になった施設

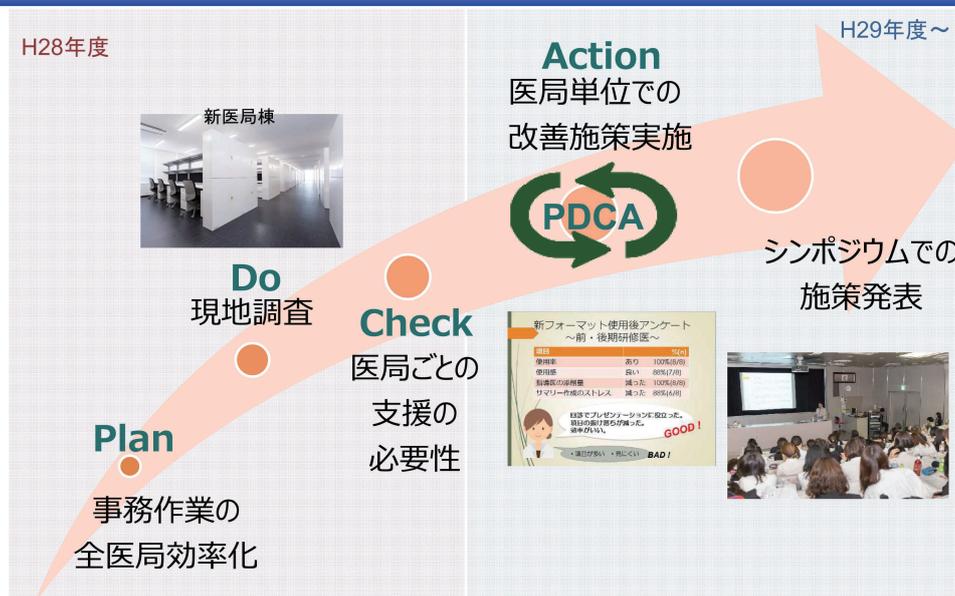
	H27	H28	H29	H30
医学部長	男性		女性	
看護学部長	女性	女性		
医学部学生部長	男性	女性		
看護学部学生部長	女性	女性		
東医療センター長	女性		女性	
附属成人医学センター長	男性		男性	
臨床研究支援センター長	男性	男性		
臨床ゲノムセンター長	(H29年12月4日開設)		女性	
先端生命医科学センター長	男性	男性		
図書館長	女性		女性	
女性医療人 キャリア形成センター長	男性	女性		



H30年4月就任
唐澤久美子 医学部長

※H30年度現在
国内唯一の
女性医学部長

勤務環境改善



女性支援の取組に関する視察・取材

◆視察

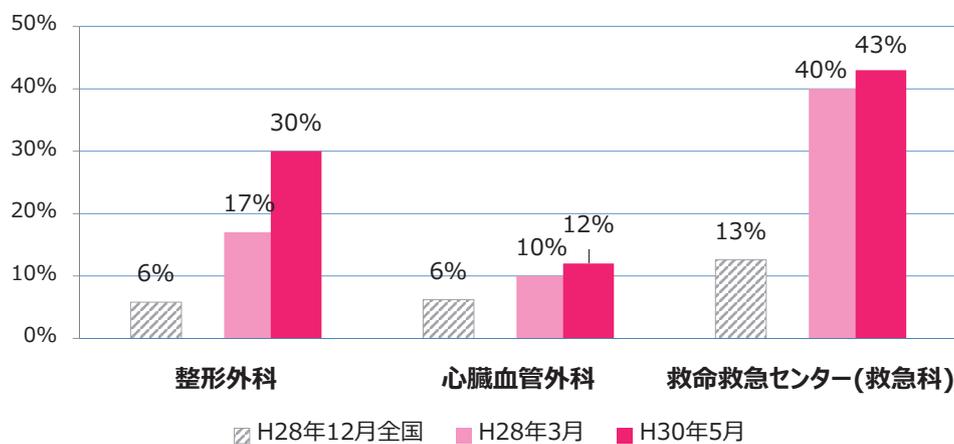
- 埼玉県立大学 (H29.8.25)
- 北海道大学病院男女共同参画推進室 (H30.9.12)

◆取材 ※一部

- BuzzFeed Japan Medical (8/8公開)
- NHK報道局 (8/21公開)
- 日本経済新聞 (9/3本紙掲載)
- NHK首都圏放送センター (9/28テレビ放映)
- TBSテレビ (10/27テレビ放映)

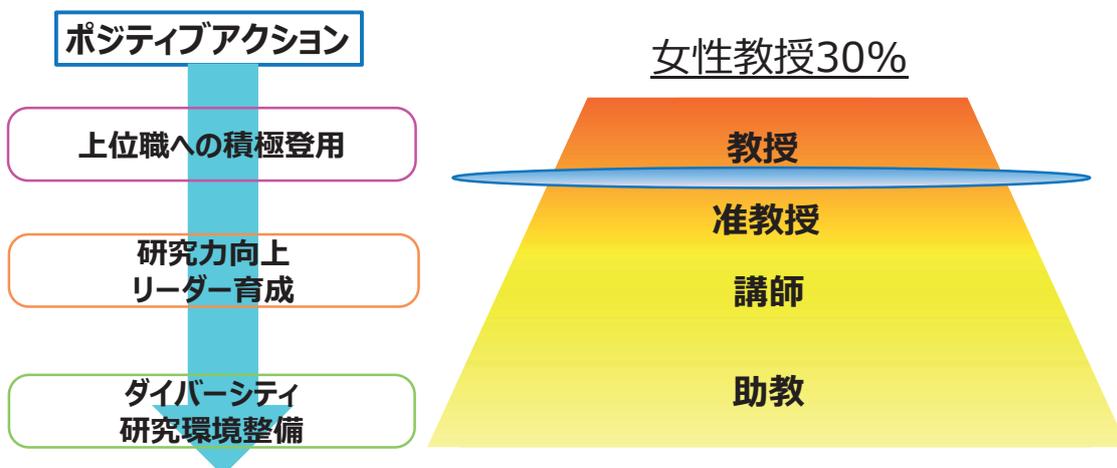


東京女子医大病院診療科 在籍女性割合の比較



実施成果

ガラスの天井突き破れ！



彌生塾講演会・ダイバーシティ環境整備事業中間報告会

女性が輝き続ける
ダイバーシティ推進のために

2018年
12/8 (Sat.)
14:00~16:00
受付開始13:00

東京女子医科大学 弥生記念講堂
都営大江戸線 若松河田駅 右松口より徒歩5分

＜基調講演＞
小池 百合子氏
東京都知事

＜ダイバーシティ環境整備事業中間報告＞
齋藤 加代子氏
東京女子医科大学 特任教授・名誉教授
臨床ガムセンター 所長

本多 祥子氏
東京女子医科大学 准教授
ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長

どなたでもご参加可能です (参加費無料)
右のQRコードよりお申し込みください
※定員を超えた場合は受付を締め切ります
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/news/>

申込締切
11/9 (Fri.)

お問い合わせ先:
女性医薬人キャリア形成センター (東京女子医科大学)
MAIL: coc.br@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112 (内線41382)

TW MU

東京で輝く、
自然らしく。

プログラム

13:00 開場・受付開始
14:00 総合司会: 内田 啓子 (東京女子医科大学 教授、彌生塾 塾長)
＜開会にあたって＞
吉岡 優正 (東京女子医科大学 理事長・学長)
若本 彌子 (東京女子医科大学 副理事長)
＜第1部 基調講演＞
題 名: 記 渡 直美 (東京女子医科大学 名誉教授・理事、女性医薬人キャリア形成センター 所長)
講 演 者: 小池 百合子 (東京都知事)
15:05 ＜第2部 本学ダイバーシティ事業のこれまでの取り組みと成果について＞
座 長: 内田 啓子 (東京女子医科大学 教授、彌生塾 塾長)
講 演 者: 齋藤 加代子 (東京女子医科大学 特任教授、女性医薬人キャリア形成センター 所長)
講 演 者: 本多 祥子 (東京女子医科大学 准教授、ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長)
＜閉会のあいさつ＞
唐澤 久美子 (東京女子医科大学 医学部長)

16:00 閉会

講演者・発表者紹介

■小池 百合子
1978年10月 カイロ大学文学部社会学科卒業
1992年7月 参議院議員
1993年7月 愛媛県議員
2003年9月 環境大臣
2004年9月 内閣府副大臣(沖縄及び北方対策)兼任
2008年9月 内閣府副大臣補佐官(国家安全保障問題担当)
2007年7月 防大大臣
2010年9月 防大副大臣
2011年10月 予選委員会委員
2016年7月 東京都知事 当選
2017年 東京都知事 再選

■斎藤 加代子
1976年 東京女子医科大学 医学部 卒業
1982年 同 大学院修了 高 用 小児科助産
1989年 同 小児科 教授
2004年 同 臨床ガムセンター 所長・教授
2009年 同 男女共同参画推進員
2016年 女性臨床研究センター所長
2017年 東京女子医科大学副学長
2018年 同 名誉教授、臨床ガムセンター 所長

■本多 祥子
1992年 東京女子医科大学 医学部 卒業
1998年 同 大学院修了 医 第 2 生理学教室 助手
1999年 同 理学療法士 准 師
2008年 同 理学療法室 講師
2014年 同 理学療法室 准教授
2018年 同 女性医薬人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長

ダイバーシティ環境整備事業について

本事業では、研究者のライフイベント及びワークライフバランスの課題、上記研究推進の働きやすさに向けた職場内の意識改革、女性研究者の裾野の拡大、女性研究者の研究の向上及び自費への奨励費用に際した部局横断的な取組などを行っています。
本学では女性教員の割合30%達成を目標に掲げて、彌生塾での女性医薬人研究者の研究力向上に取り組んでいます。また勤務環境の改善や介護制度の創設といった、対象者を女性に限定しない施策もあわせて講じています。

お問い合わせ先
東京女子医科大学
女性医薬人キャリア形成センター
MAIL: coc.br@twmu.ac.jp
TEL: 03-3353-8112 (内線41382)
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>
(右のQRコードからHPをご覧ください)
※取材申込につきましては広報室へご連絡ください。
TEL: 03-3353-8111 (広報室とお伝えください)
MAIL: kouhou.br@twmu.ac.jp

※本イベントは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究推進実現イニシアティブ(特色)」の一環として実施します。

アクセス

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
【電車】
・都営大江戸線 若松河田駅(松口)または平土駅前駅(西口)より徒歩5分
・都営有楽町線 茗荷谷駅(西口)より徒歩8分
【バス】
・全線 新大塚駅西口より西74系統または西76系統で「東京女子医大前」下車